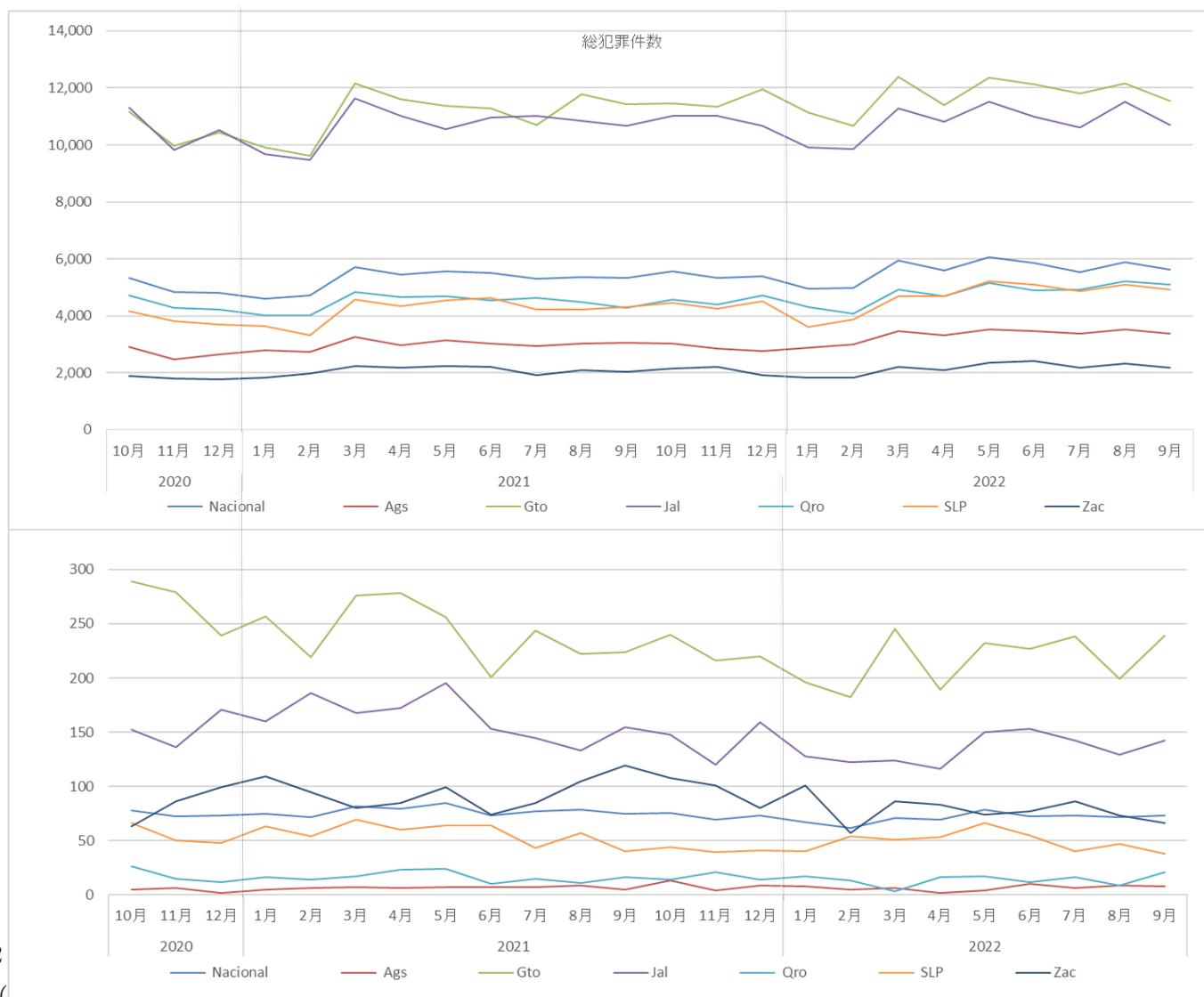


1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数のカルテル（麻薬組織）が存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナフアト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、全国的にも故意殺人が多く発生している州となっております。近年では CSRL は弱体化していると言われておりますが、シナロア・カルテルも本格的に CJNG と抗争を始めたとの情報もありますので抗争はまだ続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれたり、誤認により殺害されるケースもあるため十分注意が必要です。

当館管轄の6州では、サカテカス州も激しい抗争地域となっており、凄惨な事件も多く報道されております。隣接しているアグアスカリエンテス州でも、サカテカス州の抗争に関連するような事件や逮捕者も出ており、州境には警察を配備するなど緊張が高まっております。国内でカルテルが活動していない州はなく、複数のカルテルが1つの州内で活動していることも多く、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は故意殺人が少ない傾向にありますが、グアナフアト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まれば治安は一気に悪化する可能性もありますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。



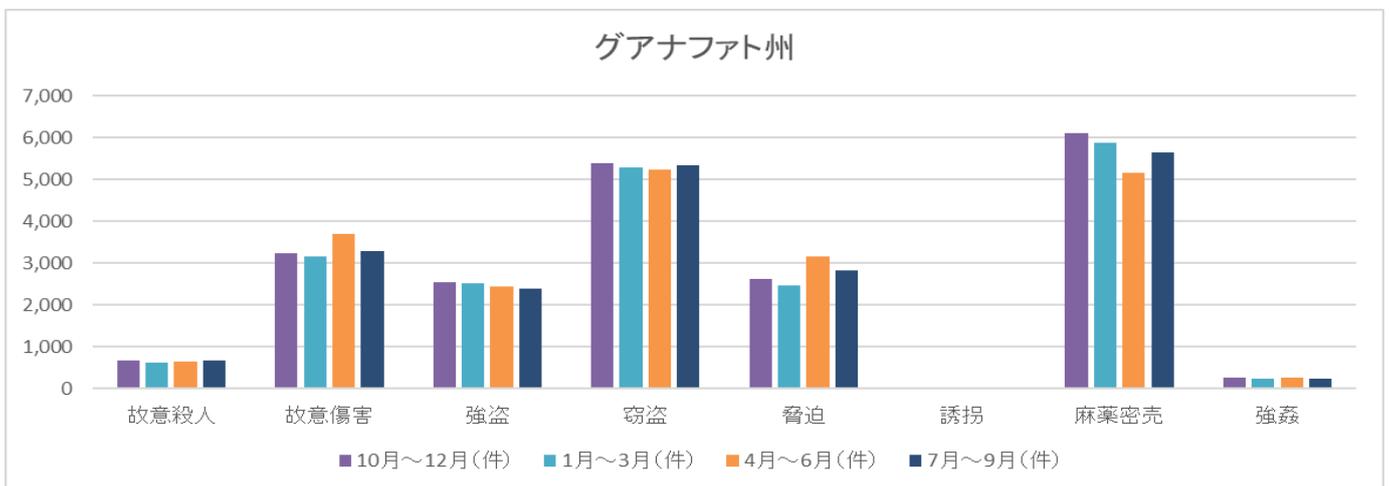
・人口約616万人 犯罪認知総数（7月～9月）35,505件

故意殺人の件数は緩やかに減少しておりましたが、今年に入り増加傾向となっている事から、カルテルの抗争が激化していると予想されます。治安関係者や一般市民を巻き込んだ銃撃事件や複数の小規模店舗を同時に放火する事件が発生しております。それに加えて強盗の件数も他州に比べて高いため、十分注意が必要です。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	676	623	648	676
故意傷害	3,231	3,146	3,700	3,287
強盗	2,537	2,512	2,437	2,390
窃盗	5,390	5,283	5,236	5,343
脅迫	2,622	2,466	3,144	2,817
誘拐	2	3	2	1
麻薬密売	6,098	5,861	5,153	5,644
強姦	246	226	267	240



(2) アグアスカリエンテス州

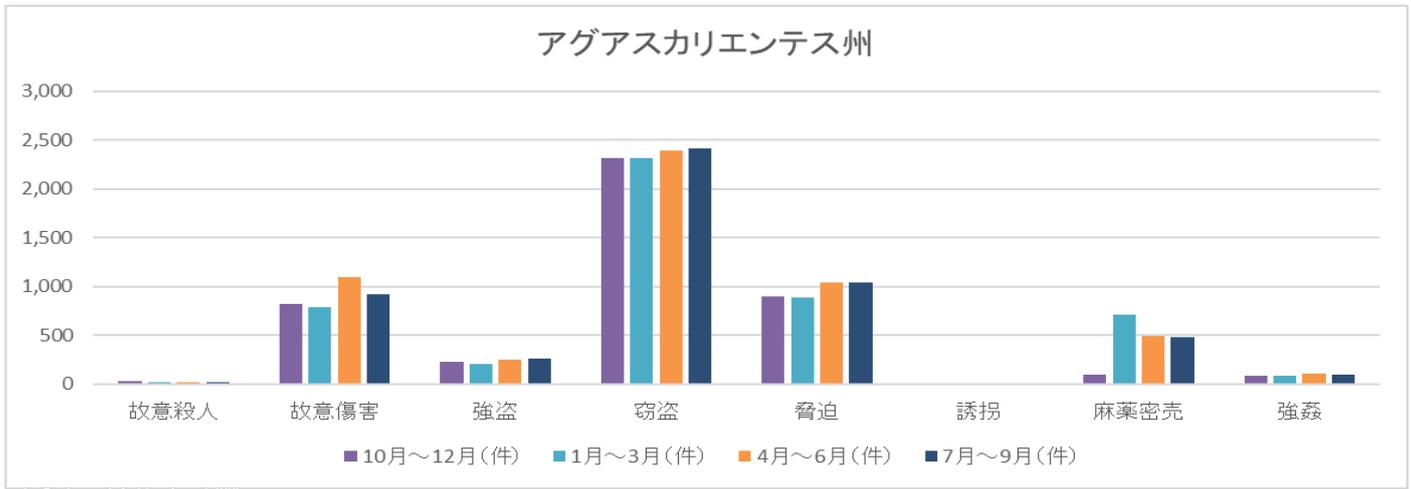
・人口約142万人 犯罪認知総数（7月～9月）10,298件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率（人口の割合）では窃盗や強盗が多く発生している州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを選定し、貴重品は車内に残さないといった対策を徹底してください。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	26	19	17	23
故意傷害	823	787	1,090	920
強盗	223	203	254	256
窃盗	2,311	2,320	2,391	2,418
脅迫	893	887	1,036	1,040
誘拐	0	1	0	1
麻薬密売	90	714	490	479
強姦	83	85	104	93



(5) ハツペコ州

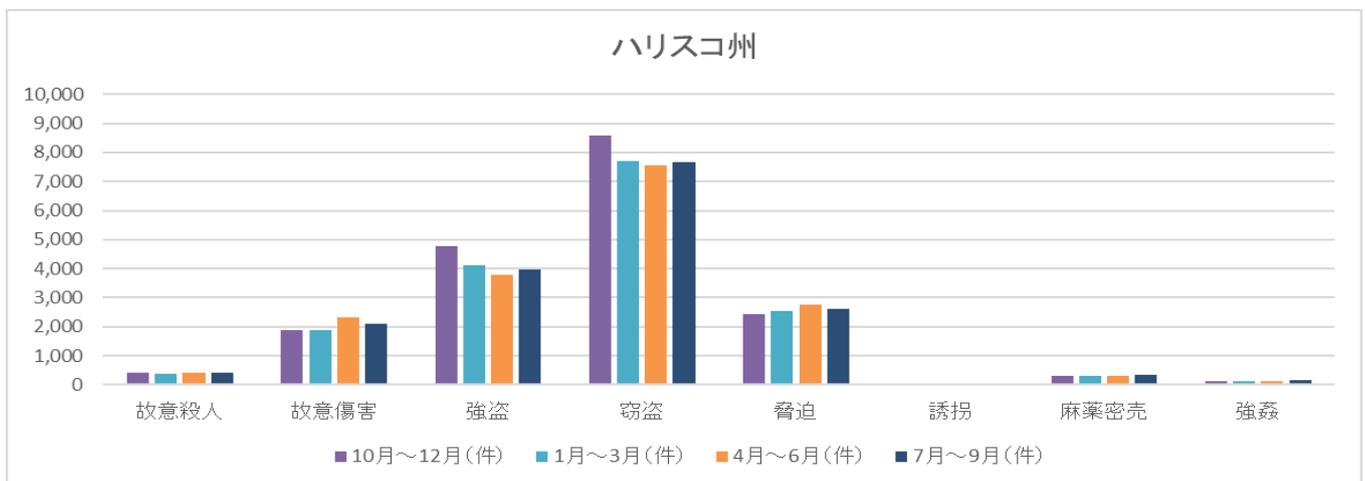
・人口約 834 万人 犯罪認知総数 (7月～9月) 32,839 件

強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。高速道路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。

・邦人被害 (7月～9月)

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	427	373	420	413
故意傷害	1,872	1,867	2,307	2,099
強盗	4,757	4,098	3,799	3,985
窃盗	8,590	7,702	7,574	7,677
脅迫	2,434	2,556	2,740	2,629
誘拐	4	6	7	5
麻薬密売	300	318	318	347
強姦	137	110	131	140



(4) ケレタロ州

・人口約 236 万人 犯罪認知総数 (7月～9月) 15,221 件

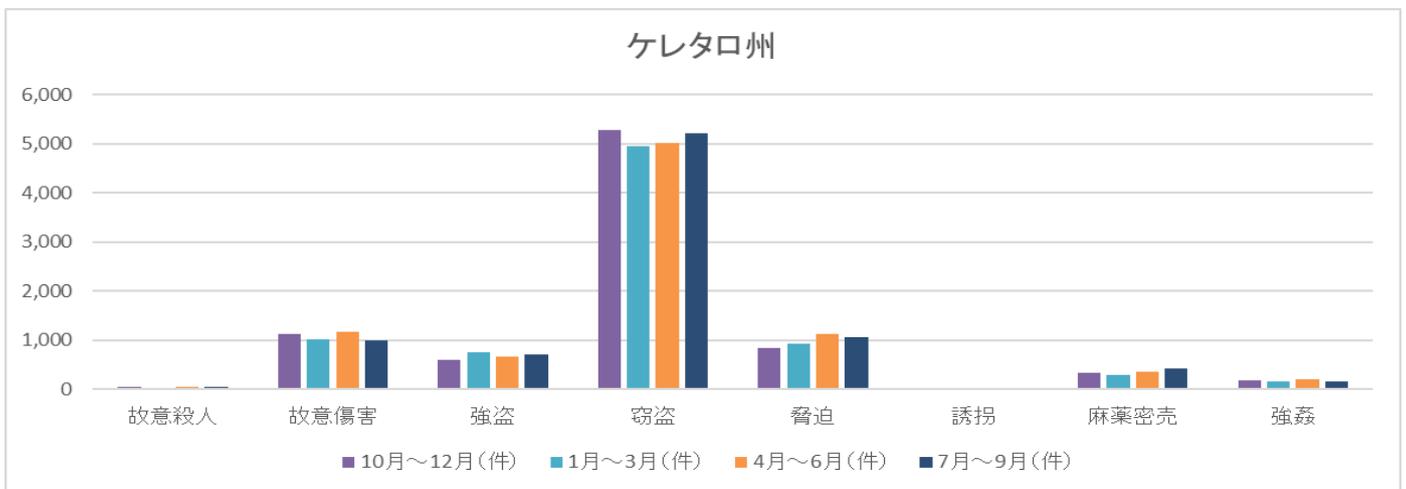
犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト

州やメキシコ州、メキシコシティの治安も悪く、車両強盗も多く発生していますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害（7月～9月）1件（強盗被害）

午前7時頃、高速道路沿いにあるコンビニエンスストア（0XX0）に立ち寄るため店舗前に駐車し、降車したところ2人組の男性が被害者にけん銃を突きつけ、車内の助手席に置いてあったカバンを奪う事件が発生しています。明るい時間であっても、早朝や夕方強盗被害のリスクが高くなりますのでコンビニのような小店舗の利用は可能な限り避けてください。また、高速道路上でも強盗被害は発生しているため十分注意して下さい。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	49	33	45	46
故意傷害	1,137	1,026	1168	1001
強盗	598	754	672	707
窃盗	5,293	4,951	5010	5209
脅迫	835	928	1119	1070
誘拐	3	4	3	1
麻薬密売	331	288	362	425
強姦	181	154	196	162



・人口約282万人 犯罪認知総数（7月～9月）14,872件

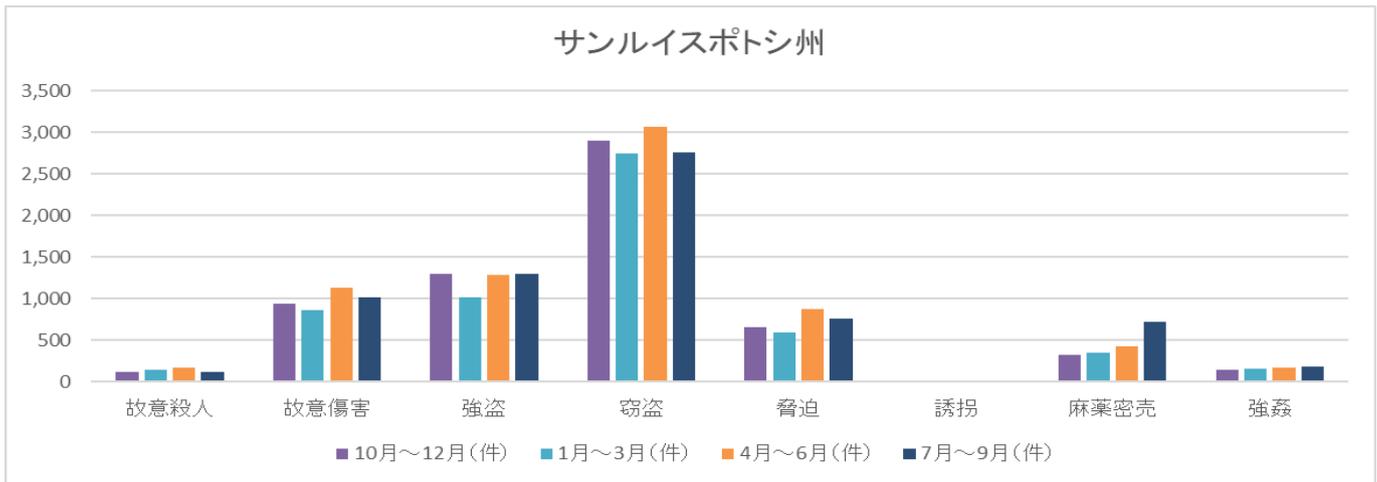
強盗件数が増加傾向にあります。早朝や夜間のガソリンスタンドやコンビニの利用は可能な限り避けてください。特に犯罪の多くはサンルイスポトシ市で発生しておりますので注意して下さい。

・邦人被害（7月～9月）0件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	124	145	174	125
故意傷害	938	859	1,131	1,019
強盗	1,296	1,012	1,289	1,304
窃盗	2,906	2,745	3,067	2,760
脅迫	658	587	870	760

誘拐	2	6	1	2
麻薬密売	321	350	432	726
強姦	145	153	169	178



(6) サカテカス州

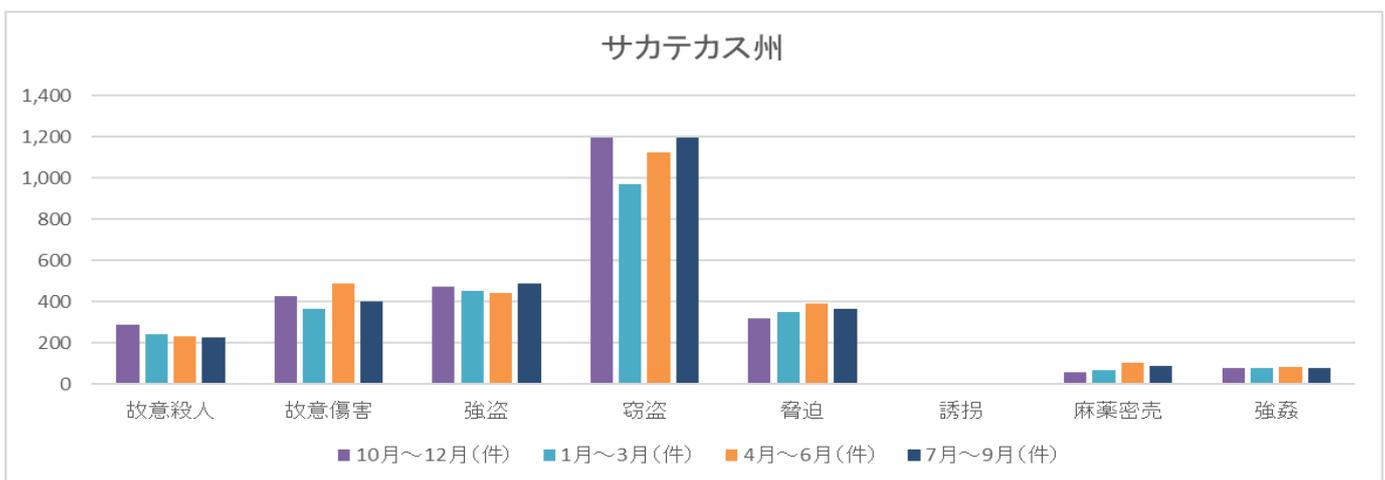
・人口約162万人 犯罪認知総数(7月～9月)6,686件

故意殺人の犯罪発生率(人口の割合)は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害(7月～9月)0件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	289	241	231	225
故意傷害	425	367	487	399
強盗	473	453	439	486
窃盗	1,198	970	1,122	1,198
脅迫	318	348	391	365
誘拐	5	4	2	1
麻薬密売	57	69	104	86
強姦	75	79	83	75



3 安全に関わる諸問題及び対応策

(1) 麻薬に関する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を

直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。

- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行があっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局（Ministerio Publico）に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

以上